



品川女子学院図書室
2022年2月発行
212号

名作まちがいさがし

『吾輩は猫である』 夏目漱石:著

水彩画に凝り始めた主人はすっかり大画家の気分で、昼寝中の猫をモデルに熱心に筆を振ります。ところが猫は小便に行きたくなって動き出してしまい、主人は思わず「この馬鹿野郎」と怒鳴るのでした。

下の2枚の絵の違いを5か所見つけてください



※答えは図書室にあります。

芥川賞・直木賞

毎回注目される芥川賞と直木賞。

1月19日、2021年下半期(第166回)の芥川賞・直木賞が発表されました!

芥川賞:『ブラックボックス』砂川文次:著/講談社

直木賞:『塞王の楯』今村翔吾:著/集英社

直木賞:『黒牢城』米沢穂信:著/KADOKAWA

図書委員会広報班よりおすすめの図書



『ことり』 小川洋子:著/朝日新聞出版 3年F組 Kさん

「小鳥はお兄さんの言葉を運んでくれているのだ。だからか弱い体でこんなに一生懸命歌うのだ」今回紹介する本は、芸術選奨文部科学大臣賞文学部門受賞作で、純文学に興味のある方必見の小説です。物語の主人公は、周りから「小鳥の小父さん」と呼ばれる物静かな人物です。彼の兄は人の言葉を話すことが出来ませんでした。小鳥の囀りを理解できる人でした。兄が話す独特の言葉が唯一わかる彼は、兄と同じく小鳥を愛し、ひっそりと慎ましく生きていました。小鳥の囀りとともに生きる兄弟の一生を描く、切ないながらもどこか暖かい物語です。作者は小川洋子、『博士の愛した数式』でご存知の方もいらっしゃると思います。そちらも面白い本ですので、ぜひこの機会に一度手に取ってみてください!



『モモ』 ミヒャエル・エンデ:著/集英社 5年C組 Yさん

皆さんは時間を大切にしていますか?限られた時間の中であくせくして、とにかく効率的に生きようとはしていませんか?私が紹介する本は、ミヒャエル・エンデの世界的に有名な作品、『モモ』です。とある円形劇場に住む孤児の少女、モモは、人の話を聞くことが得意で、話を聞くことによってその人が失っていた自信を取り戻させてくれます。しかしある日、街に「時間貯蓄銀行」を称する灰色の男達が現れ、時間を効率的に使うことによって貯蓄できる、時間を貯蓄すると寿命が伸びる、と言って大人達を騙そうとします。彼らは人々から盗んだ時間で生きているのでした。これに気づいたモモは、時間泥棒から盗まれた時間を取り戻そうとします。モモは「人の話を聞くことが得意」ということ以外は特別な力もない、ただの子供です。しかし、大人達が忘れてしまっている大切なことを知っていました。読者である私たちにも、時間の大切さを気づかせてくれる作品です。

